

びっくり！エコ新聞

「お寺エコ発見の旅」について

・日時 2017年 3月 26日 ・主催 エコ実行委員会

・場所 東福寺&高台寺

7時45分 東福寺駅前集合 見学・座禅体験

高台寺にてビデオ鑑賞・昼食【精進料理】

13時00分頃 高台寺解散

東福寺

東司

とうす

重要文化財 室町時代



叢林…大きな寺院、特に、禅寺。禅林。

左の写真は、東司と呼ばれるトイレである。百間便所【百雪隠(ひゃくせっちん)】と称し、子供たちは、「100人便所」とも云っている。禅堂の横に必ず「東司」が置かれる。禅宗叢林の便所では、日本最古で、現存する唯一の遺構である。

当時の排出物は貴重な堆肥肥料であり、京野菜には欠かせない存在となっていた。

京都の公家、武家、庶民の台所をおいしい野菜で潤した。

叢林としても現金収入の大きい糧となっていたと云われる。

三門

さんもん 国宝 室町時代 応永十二年(1405)



東山三十六峰「慧日山」の麓に聳える国宝（指定：明治 30 年 12 月 28 日）「三門」。

一般的には「山門」と表記している。この意味は、「三解脱門」の略で、涅槃に達するための通らねばならない門とされる。三つの門は、「空門（くうもん）」「無相門（むそうもん）」「無作門（むさもん）」である。大きさは、五間三戸、二階二重門、であるが、視覚的には禅宗様である。三門正面二階には、北朝第四代将軍足利義持の筆である扁額「妙雲閣」が揚げられている。「妙」は「女」偏が一般的ですが、額は「玄」の偏を用い、本来の「玄」の意味である「奥深い道理」の意味を添え、「妙」の意味の「真理・美しい」の意味を強化している。大きさは小さく見えるが畳三畳分あり、又、力強い筆運びである。二階内陣中央に 35 歳と云われる宝冠釈如来坐像、左前に月蓋尊者、右前に善財童子、両側に十六羅漢が安置されている。

浴室

よくしつ 重要文化財 室町時代 (1459)



禅宗藍の現存最古の浴室である。現在でも使用できる程現代的なシステムが採用されている。所謂「サウナ風呂」である。当時は 100 人単位の僧侶が修行していた。沐浴に「お湯」を使用すると、膨大な量となる。当然お湯を沸かす貴重な水はもとより、水を沸かす薪の量も多く、東山三十六峰の山々が禿げ山になる可能性があった。そのためお湯ではなく、「蒸気」で体の「垢」をふやかし、擦り落とすことで、お湯の使用量を格段に節約し、自然を大切にしたのである。今でいう、「エコロジー」の精神である。自然の中に人間は生かされ、自然に感謝して生きている。禅の中には人間のみのエゴを捨て去り、地球規模での輪廻を詠っているのである。

構造は、東側に破風の二つの蒸し風呂が並び、各々板戸を立てている。

五社成就宮

ごしゃじょうじゅきゅう

京都府有形指定文化財

室町時代 文禄三年(1594)



石清水八幡・賀茂・稻荷・春日・日吉の五社を祀ることから「五社明神社」ともよばれている。

毎年 11 月にお火焚祭が開催されている。本殿へ向かう途中左手の広場に十三重石塔が。比良の魔王(比良明神=天狗)を祀ったもので、九篠道家が 1343 年に東福寺の創立祈願のために建立。そのかたわらにある、小さな祠の中には鞍馬山の魔王が降臨したといわれる「魔王石」が祀られている。

帰り道すがら、坐像のお地蔵さんと立像のお地蔵さん。

禅堂

ぜんどう 重要文化財

室町時代 貞和三年(1347)



僧侶になるための修行道場であり、修行僧である雲水が座禅はもとより、寝食を行う所であった。
世界最古の禅堂である。

高台寺

昼食 精進料理



精進料理とは仏教の戒律に基づき、殺生や脳への刺激を避けることを、主眼として調理された料理。



感想

私は、今回このイベントに応募させてもらったきっかけは、
京都に住んでいるから少しぐらい知っておこうかと思ったからです。
私はあまりお寺とか歴史とかには興味がないですが、友達に誘って
もらって、行ってみようと思いました。

東福寺で一番心に残ったのは三門です。急な階段を上って怖かった
けど、上から見る景色はとてもきれいで、お坊さんのお話を聴くのも
たのしかったです。

座禅体験では、何も考えずに座っていると時間が経つのが早く感じ
ました。

座っているときの姿勢は少しきつかったです。

浴室の説明を見たときは、今の入浴と全然違って驚きました。

高台寺で頂いた精進料理は、すごく豪華でおいしかったです。

このたびは、このような貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。
今回の体験の事、いろいろな人に話したいと思います。

ありがとうございました。